修士論文

特許検索における質問意図の曖昧化

48-156229 胡瀚林

指導教員 中川裕志 教授

2017年1月

東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻

Copyright © 2017, HANLIN HU.

概要

企業が特許を取る前に,類似な特許が既に存在するかを確かめるために特許データベースを検索する必要がある.しかし,検索の質問から企業秘密が漏洩する可能性がある.ウェブテキスト検索の質問からユーザーの興味を守る手法が多数存在している.その中真の質問と同時にダミー質問を提出する手法が一番効率的、現実的である.一般的なウェブテキスト検索と違い,特許データベース検索は長い検索質問を用い,検索の精度と再現率を重視しているため、既存手法を直接特許検索に適用することはできない.本発表では既存手法を破られる攻手法を提案し、その攻撃手法に対応できるダミー質問生成システムを提案する.

目次

第1章	はじめに	1
第2章	特許	2
2.1	特許文章	2
2.2	国際特許分類	2
2.3	特許検索	2
第3章	曖昧化検索	3
3.1	否認可能検索を利用したプライバシー保護 $[1]$	3
3.2	質問者のプライバシーを保護する質問加工法 [2]	3
3.3	質問意図を曖昧化するキーワード検索 [3]	3
第4章	語意分析	4
4.1	tf-idf	4
4.2	潜在意味解析	4
4.3	潜在的ディリクレ配分法	4
第5章	プライバシー分析 (攻撃手法)	5
5.1	メイントピック攻撃	5
5.2	類似度攻撃 [4](事前情報あり)	5
5.3	類似度攻撃 2(事前情報なし)	5
第6章	質問曖昧化 (提案手法)	6
6.1	単語ベクトル	6
6.2	質問曖昧化	6
第7章	データベース分割	7
第8章	実験	8
8.1	データベース	8
8.2	tfidf vs lda vs lsa	8

iv 目次

8.3	データベース分割	8
8.4	検索結果分析 (真の質問が当たられる確率 ${ m vs}$ ダミー質問と真の質問の検索結	
	果の類似度)	8
第 9 章	おわりに	9
謝辞		10
参考文献		11
付録 A		12

第1章

はじめに

第2章

特許

- 2.1 特許文章
- 2.2 国際特許分類
- 2.3 特許検索

第3章

曖昧化検索

- 3.1 否認可能検索を利用したプライバシー保護 [1]
- 3.2 質問者のプライバシーを保護する質問加工法 [2]
- 3.3 質問意図を曖昧化するキーワード検索 [3]

第4章

語意分析

- 4.1 tf-idf
- 4.2 潜在意味解析
- 4.3 潜在的ディリクレ配分法

第5章

プライバシー分析 (攻撃手法)

- 5.1 メイントピック攻撃
- 5.2 類似度攻撃 [4](事前情報あり)
- 5.3 類似度攻撃 2(事前情報なし)

第6章

質問曖昧化 (提案手法)

- 6.1 単語ベクトル
- 6.2 質問曖昧化

第7章

データベース分割

第8章

実験

- 8.1 データベース
- 8.2 tfidf vs lda vs lsa
- 8.3 データベース分割
- 8.4 検索結果分析 (真の質問が当たられる確率 vs ダミー質問と 真の質問の検索結果の類似度)

第9章

おわりに

謝辞

参考文献

- [1] "Providing Privacy through Plausibly Deniable Search", Proceedings of the 2009 SIAM International Conference on Data Mining, Proceedings, Society for Industrial and Applied Mathematics, pp. 768–779 (2009).
- [2] "Embellishing Text Search Queries to Protect User Privacy", Proc. VLDB Endow., 3, 1-2, pp. 598–607 (2010).
- [3] "On masking topical intent in keyword search", 2014 IEEE 30th International Conference on Data Engineering, IEEE, pp. 256–267 (2014).
- [4] "SimAttack: private web search under fire", Journal of Internet Services and Applications, 7, 1, p. 1 (2016).

付録 A